

小田原

広

報

まちづくり情報誌

2001 5 月号
5/1

平成13年5月1日発行
No.794



めでたく1周年
わんぱくらんどに行こう



進化する！21世紀の農業生産環境

小田原の農業をサポート！

私たちの毎日の食卓を飾る野菜・穀物・くだもの。地域の食を支える農業は大切な産業です。小田原市では農業関係者の意見をうかがいながら、その活動をサポートしています。今回は、農道や農業用水路を新設・改良する農業生産基盤整備や土地改良法に基づいて比較的大規模に行う土地改良事業など、その取り組みを紹介します。

問農政課 ☎331496

21世紀型の農作業を 目指して！

今、市内には約2,600戸の農家がありますが、従事者のうち約48%が65歳以上となっています。小田原の農業にとってこの高齢化は深刻な問題であり、農作業の効率化が必要とされています。



たとえば、狭くて農耕車が通行できないような農道を広げたり、崩れやすく水の流れの悪い水路を改良して水田への取水を容易にすることは、農作業に携わる方の労力を軽減し、農業生産の向上に役立つのです。

美しい小田原の環境も 考えます！

近年、全国で土地改良事業に関する論争が起っています。整備を行う際には、環境との調和をどのように図るのか、様々な意見交換をしながら進めることが求められます。

事業の中で一番多いのは、農道や農業用水路の整備ですが、それ以外にも、農業用水路の水量を調整する水門の整備や水田の区画整理をする圃場整備など様々な取り組みがあります。

確かに、これまでの事業は、整備を優先した工法を採用しており、環境への配慮が足りなかった面がないとは言えません。

今後の事業実施に当たっては、周辺環境への配慮を怠ることのないよう充分注意して行うことを考えていきます。

また、最近では自然環境に配慮し、生産効率の向上のためだけでなく、農業用水路を身近な水辺環境として活用する取り組みも行っています。

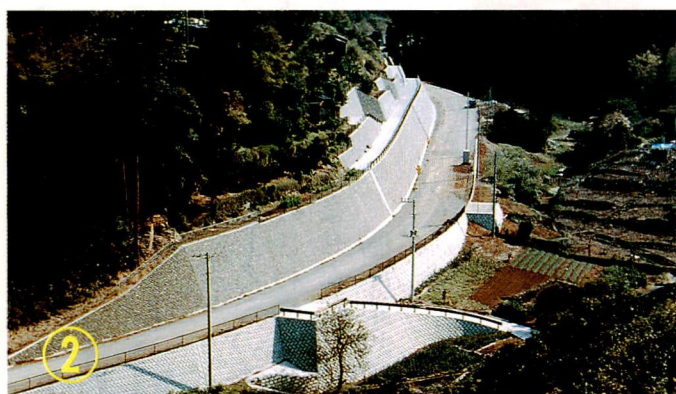




代表的なものを紹介します。

①農村活性化住環境整備事業
(上曾我地区)：圃場整備、農道、用排水路や集落道、交流施設など、農地と耕作者が暮らしている集落を総合的に整備します。

上曾我地区では、平成5年度からこの事業が始まっており、平成14年度に完了する予定です。すでに圃場整備や、交流施設(曾我みのり館)など主な部分が完成しており、いままでとはまったく違った農村風景が出来上がっています。



②広域農道整備事業(小田原湯河原線)：広域農道は、主に、農産物の流通が円滑にできるよう整備されるもので、周辺に1000ヘクタール以上の農地があることが事業化の条件とされています。農道の中では最も事業規模が大きいため県が事業主体となつていますが、複数の市町村にまたがって整備される場合がほとんどです。小田原湯河原線は、入生田から一夜城近くを通り、早川・片浦・そして真鶴町を経て湯河原町に至る、全長16・65キロメートルの農道です。完成すると通行量の多い国道135号をわずかに済むようになるため、円滑な農産物の運搬が可能になるものとして期待されています。



③基盤整備促進事業(西山農道)：農業の生産性の向上を図るために地域の実態に合わせて中規模の農道や用排水路などを整備するもので、周辺に5ヘクタール以上の農地があることが事業化の条件とされています。西山農道は、前川地内の幅の狭い既存の農道を1200メートルにわたって改良してきたもので、平成5年度から始めて、平成12年度で完了しました。農作業車両の円滑な通行が可能になり、作業の効率化が期待されています。



主な整備事業(国庫補助事業)

- 農村活性化住環境整備事業 上曾我地区 ①
- 広域農道整備事業 小田原湯河原線 ②
- 小田原南足柄線 ④
- 基盤整備促進事業 西山農道 ③
- 六本松農道 ⑤

これらの生産基盤整備事業は、その事業の規模や内容に応じて、県、市、各地域の土地改良区、農業協同組合などが分担して実施しています。

いかがでしたか。こうした取り組みもあっておいしい農産物が食卓に届くことになるのです。今日も小田原の農産物をもりもり食べて、元気にいきましよう！

小田原再発見

街かど博物館

小田原のまちが一番みずみずしく感じるこの季節、新しく2つの博物館が仲間入りしました。初夏のさわやかな風のなかを小田原の新しい魅力を探る散策をしてみませんか。

問 産業政策課 ☎ 3315115

陶彩ぎやらりい 全国の陶芸の魅力を堪能

国道1号国際通り交差点から、御幸の浜海岸よりに進み、青物町商店街の中にある松崎屋陶器店、その2階が「陶彩ぎやらりい」。

建物こそ鉄筋コンクリート造3階建ての現代建築だが、明治20年創業の老舗である。

有田、美濃、九谷、信楽など全国各地から取り寄せた陶器やガラス器が、店舗の中に整然と飾られ、2階に続く階段の中ほどの陳列コーナーに、明治時代から始まる松崎屋の歴史と歴代当主のコレクションがある。

「親父たちのコレクションだけでなく、自分が手に入れた、珍しい陶器もあるんですよ。今ではもう作る職人がいなくなってしまい、手に入ることができない貴重な陶器の重さ一つひとつを手のひら全体で確認するように抱きながら、爽やかな笑顔で展示品の説明してくれた4代目



●陶彩ぎやらりい(松崎屋)
時間 10:00~19:00
※日曜休
場所 浜町3-1-44
☎ 24-2479



曾我英孝さん

の曾我英孝さん。「小田原周辺には多くの旅館や料亭があり、そこに全国から陶器が集まってきていたんです。箱根や湯河原にも自転車で配達していた時代もあったと先々代から聞いていたそう。古くからの店らしく、自分の結婚のときに嫁入り道具をこの店で揃えたので、近く嫁ぐ娘のためにと訪ねてくださるお客様もいた。おつきあいは2代3代にわたることも珍しくはないと言う。

「良い陶器や器を選ぶ秘訣はどこですか」珍しい陶器やガラス器に目を奪われながら尋ねると「本当に自分が納得したものを選ぶことです。手に入れたら食卓を彩ってみてください。家族もテーブルを囲むことが楽しくなって、みんな心がほっと和みますよ」。特別な知人からいただいたという清水焼の器を手に入れたという

も普段から使っていますよ」と話してくれた。

器だけでなく、創業初期の写真や地元青物町の歴史なども展示されている。近くを訪れた際にはふらっと立ち寄って見るのもいいだろう。

ほかの街かど博物館

- ①かまぼこ伝統館(丸う田代)

時間 8:00~20:00
*定休なし
場所 浜町3-6-13
☎ 22-9222
- ②梅万資料館(欄干橋ちん里う)

時間 9:00~18:00
*定休なし
場所 本町4-2-37
☎ 23-1547
- ③工芸菓子展示館(栄町松坂屋)

時間 9:00~18:30
*第3水曜日定休
場所 栄町1-16-46
☎ 22-3020
- ④薬博物館(済生堂薬局小西本店)

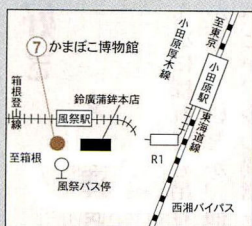
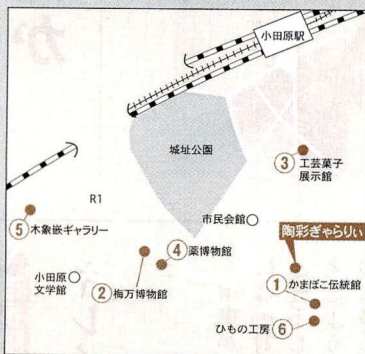
時間 8:30~21:00
*日曜日定休
場所 本町4-2-48
☎ 22-2014
- ⑤木象嵌ギャラリー
(内田木象嵌製作所)

時間 9:00~17:00
*金・土曜日定休
場所 南町4-1-13
☎ 22-7314
- ⑥ひもの工房(早瀬幸八商店)

時間 9:00~17:00
*土曜・日曜・祝日休
場所 浜町3-8-4
☎ 22-4035
- ⑦かまぼこ博物館(鈴廣)

時間 10:00~17:00
*手づくり職人見学コーナーは
水曜日休み
場所 風祭245
☎ 24-6262

※各博物館とも入場無料です。



金賞受賞作を手にする
露木さん

ストライプの組み合わせが
あざやかな「神台檨の器」



早川右岸を早川橋から川に沿って上流に向かって行くと、早川小学校の手に「寄木ギャラリー」の看板がある。このビルの1階が新しい街かど博物館である。川のせせらぎが聞こえてきそうなこのギャラリーには、約3000点の寄木細工や原料になる材木が展示されていて、なかには引きダンスやお盆だけでなく、ネックレスなどの装身具やワイングラスなどの珍しいものも見ることができている。

「麻の葉模様の2尺5つ引きダンス」「神台檨の器」はぜひ見てほしいと、語るのは3代目社長の露木清勝さん。10年で一人前と言われるこの世界で、創業75年ののれんを守る経験25年のベテランだ。昨年は全国「木のクラフトコンペ」で金賞を受賞した。

そのときの受賞作品である時計も

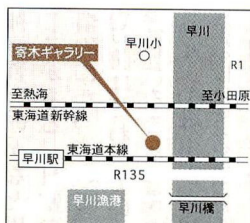
ギャラリーには展示してあった。「この時計は、完成までに2か月ぐらいかかったな」。作品を手に取り、ちよつと照れくさそうに話してくれた。「知っているかい。箱根細工の発祥の地は早川なんだよ。木地挽の名が残っているだろう」とほこらし気に話す露木さん。

展示品の数々を見ると匠の技に引き込まれ時のたつのを忘れてしまい、つい長居をしてしまった。

この博物館では、来ていただいた方に、寄木細工の作業工程をビデオでいつでも説明できるようにしているとのこと。寄木細工がどのようにできるのかを知るには便利でわかりやすい。

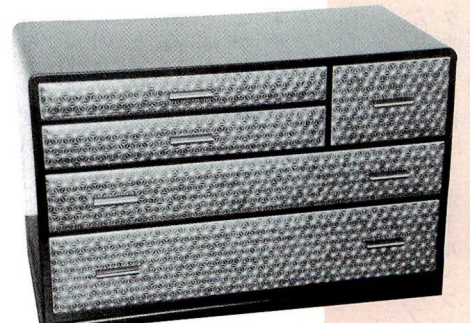
「伝統にこだわらない、未来をみた作品づくりをしたい」と今後の抱負と語るご主人は、寄木細工を使った照明器具などの製作も考えて

寄木ギャラリー 創業75年。匠の技を今に伝える



●寄木ギャラリー
(株式会社 露木木工所)
時間 9:00~17:00
*日曜・祝日・第2土曜休
場所 早川2-2-15
☎ 22-5995

いるようだ。伝統の技術を新しい作品に意欲的に取り込もうとしている露木さん。今後の作品も目が離せない。

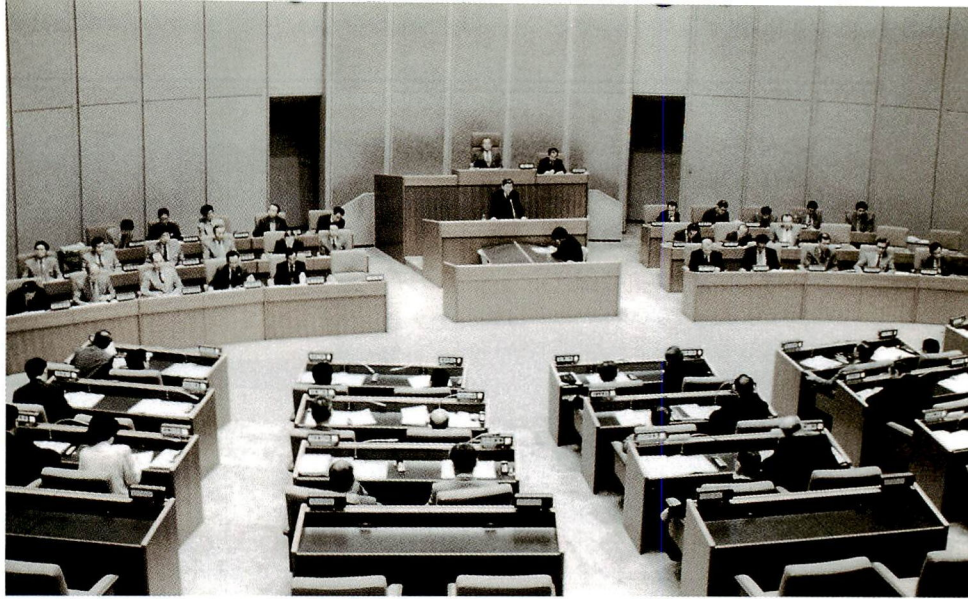


麻の葉模様の2尺5つ引きダンス

議会を傍聴してみませんか

議会の様子を議場や委員会室に来て見聞することを傍聴と言います。小田原市では、本会議と委員会を傍聴することができます。私たちの暮らしの大切なことを議論している市議会を、一度ご覧になってみてはいかがでしょうか。まちづくりがもっと身近に感じられます。

問 議会事務局 ☎ 331761



まずは、基礎知識！

〔定例会と臨時会〕

議会には定例会と臨時会の2種類があります。定例会は、毎年3月・6月・9月・12月に開かれます。臨時会は、必要があるときにだけ開かれる随時の会議です。

〔本会議と委員会〕

本会議は、議場に全議員が集まって開かれる会議で、議会の意志決定は、すべてこの会議で決定されます。

これに対し、委員会は議会の内部組織として、議員の一部で構成されます。複雑な問題や専門的な内容を効率的に審査するため、常任委員会と特別委員会の2種類があります。

傍聴するには…

■本会議の場合

手続きは至って簡単。市役所4階の傍聴者入口の受付にある受付

簿に、氏名・住所・年齢を記入します。職員から当日の日程などの資料をもらい傍聴席へ進んでください。議場の傍聴席は84席あります。

■委員会の場合

市役所3階の議会事務局にある受付簿に、氏名・住所・年齢を記入します。傍聴券をもらい4階の委員会室(第1委員会室または第2委員会室)の傍聴者入口で審査内容などの資料をもらい傍聴席へ進んでください。傍聴の受け付けは委員会が開会される日の午前9時から始まり、先着順となります。委員会室の傍聴席は10席あります。

ちょっと一言

①本会議と委員会は、午前10時に始まる予定です。ただし会議の日程・時間などは変更になることもありますので、ご注意ください。
②危険なものを持っていたり、酒気を帯びていると認められる人、会議の妨害や人に迷惑を及ぼす

と認められる場合は、傍聴席へ入ることができません。また傍聴の際には、飲食や喫煙はご遠慮ください。携帯電話も電源をお切りください。

③議会の本会議(録画)は、ケーブルテレビ9chでご覧になれます。また小田原市ホームページでも情報が得られます。

行政と議会とが意見を出し合い、真剣に議論していくことが、よいまちづくりにつながります。議会に関心を持つことが、まちづくりへの参加の第一歩なのです。

議会で議決した内容などについては、議会ごとに発行される「議会だより」で詳しくお知らせしています。「議会だより」は、「広報おだわら1日号」と一緒に、自治会を通じて配布されますので、併せてご覧ください。

(発行月5・8・11・2月)

市長随想

キレイ好き

文 小澤良明

電車がどんなに揺れても吊り草には絶対つかまらないとか、他人と握手しないとか、少し異常と思えるような潔癖症、癩症かじょうの人が世の中多くなっているそうである。

実は私にも若い頃から友人達よりちょっと綺麗好き、或いは神経質なのかなと思えるようなところがある。日常の中で今でも習慣的になっていて、時々母からも「お前は変わっているね」とまで言われることの幾つかを挙げてみると、①外出から帰ると必ずうがいをし、手や顔を洗う。それも手の切れそうな冷たい水で。②毎朝必ず新聞紙を読むのだが、インク油で汚れた手をセッケンで洗いきれずまで一切他の物には触れたくない。③九度、四十度の高熱でも、どんなに悪酔いしていても風呂に入らないとゆっくり休めない。④温泉に入ってきてても家に帰ると必ずもう一度風呂に入る。⑤身体中ほこりまみれになった時等、勿論耳の穴の中までセッケンで洗わないと気色悪い。「当たり前！」とあるいは笑われてしまうようなことばかりかも知れないが、でもどこかおかしい、変わっていると恥ずかしながら自覚している。多少のこだわりを持ってキレイ好きを自負している私なのである。

ところで最近の抗菌グッズのはららんには驚かされる。菌ブラシ、タオル、布団、ボールペン、スリッパ、シャツ、靴下…。抗菌とは何を以て定義しているのか。滅

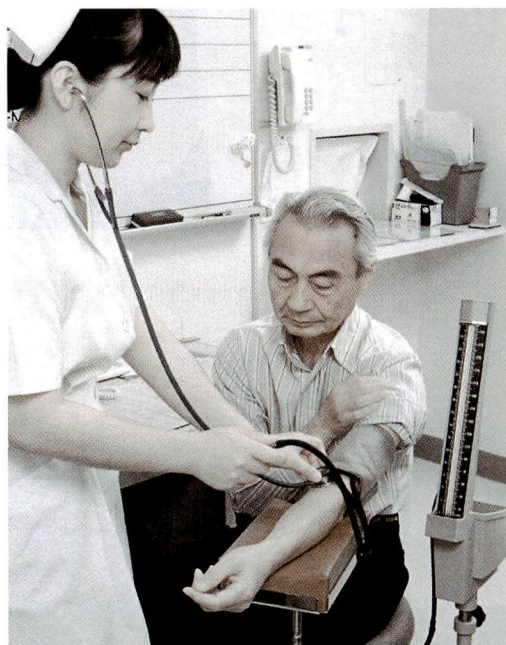
5月は「消費者月間」です。

10月から

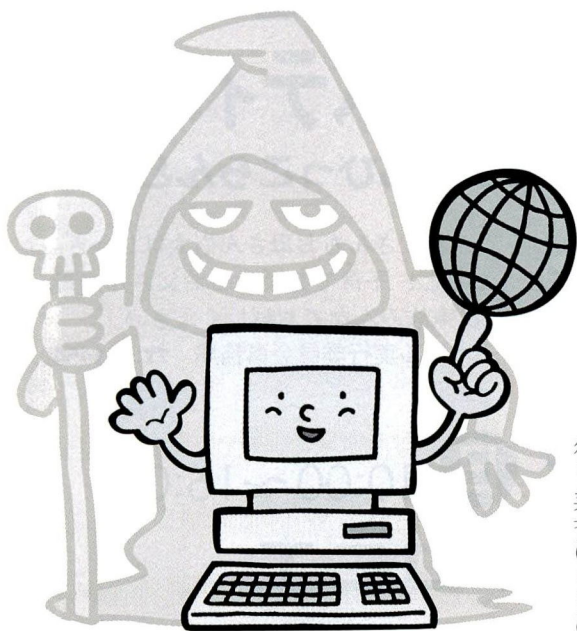
高齢者医療費助成制度が 変わる

～市県民税
非課税世帯が対象～

☎保険課 ☎33-1843



インターネットを利用した
悪質商法に気をつけて



最近は一一般家庭でのインターネットを利用した商取引の利用者増加に伴い、インターネットに関連した消費者トラブルも増加しています。今後、インターネットを利用した広告や勧誘を行う業者はさらに増えていくと思われませんが、インターネットだからといって信用のおける情報というわけではありません。なかには悪質な業者もあるのに注意しましょう。

また、規制緩和が積極的に進められている今、消費者としても自分自身の責任を認識して、学び考え、行動していかねばなりません。個人間売買であるネットオークションなどは、通信販売を規制する訪問販売法の適用がありませんので、消費者が自らを守る必要があります。

68歳、69歳の医療費助成制度が、10月以降に68歳になる方から一部改正され、市県民税非課税世帯の方のみを対象にすることになりました。すでに医療証をお持ちの方や9月までに68歳になる方は、これまでどおり助成が受けられます。

この制度は、国の老人保健制度にきぎかけてスタートし、老人保健法の制定や改正を受けて少しずつ改正しながら実施してきました。しかし、平均寿命の伸びや高齢者の所得水準の向上などにより、高齢者の概念も大きく変わってきたことから、「小田原市行政改革大綱」により見直しを検討してきました。

だれもが健康で長生きできる社会は、みんなの願いです。高齢社会を支えるために、財源を確保し新しいニーズに対応することが求められています。高齢者のみなさんも社会を支える一人です。かけがえない健康へのいっそうのお気づかいをお願いします。

【消費者が気をつけたいこと】

- ・ 現段階では、電子商取引サイトの信頼性を見極める仕組みが整っていない状態です。したがって、利用する際には、信用性に疑問があるサイトの利用はしない。
- ・ 高額商品の購入は差し控える。
- ・ 安易に代金前払いを条件にするサイトからは購入しない。
- ・ 支払は、より安全な決済方法を選択する。
- ・ カードで支払った場合は、カード会社から送られてくる利用明細に不審な点がないかチェックし、心当たりのない内容を見つけたらすぐにカード会社に連絡する。

おかしいなと思ったら、契約しない、うますぎる話には安易にのらないことが大切です。しかし、もしもトラブルに巻き込まれてしまったら、すぐに、市役所あるいは県・小田原消費生活センターへ、お気軽にご相談ください。

○市民相談 ☎331383 (消費生活相談は第1～4金曜日9時～12時 13時～16時)
○消費生活センター ☎226321



菌、殺菌、除菌、消毒？

「超清潔症候群」。周囲には病的なほど潔癖さを求める一方、自分がきたないのは構わないという誠によっかいた心の病である。他人が触れたものには不潔で、自分だけは特別だという現代病(自分勝手病?)の一種で、今やこんな極端な例まで出始めている。

何年前か前、インドネシアのバリ島で多数のコレラ患者が出て、それでも何故か日本人旅行者ばかりだったというニュースを覚えていられるだろうか。

世界でも特殊だそうだが、最近の日本ほど徹底した清潔志向を持ち、無菌室化された純粋培養的環境を是とする、いわば社会的信仰のようなものがまん延している国は無いという。結果としてそうした風潮が人々の病気や細菌に対する抵抗力、免疫力をも奪ってしまっている、と言う学者もいる。

日頃から細菌に曝されながら抵抗力を育くむ、上手につき合っていく、人類の起源から考えても細菌と「共生」をしていく、ぐらゐの大きな気持ちが必要となってきたのであろうか。私ももう少しキタナ好きになろう。



みんな集まれ、
ぼくらの国へ！

はつらつエンゼル・ 愛の環フェスティバル

～おいでよ ちびっこらんど～

子どもたちが楽しくて、お父さんもお母さんも大はしゃぎ。
21世紀を担う子どもたちと、子育てを楽しむお父さんお母
さんのためのお祭りに、家族みんなでお越しください。

☎フェスティバル実行委員会事務局 ☎33-1454

5/27日 10:00～16:00

場所 マロニエ

内容

●童謡コンサート

女声アンサンブル「キャトルフィーユ」の皆さんによる、小田
原ゆかりの童謡の数々。美しい歌声と懐かしいメロディー
をお楽しみください。(午前・午後各1回)

参加団体によるイベント

●おいしいこと、楽しいこといっぱい。 君はいくつ参加できるかな？

- ・和太鼓の演奏
- ・フランクフルト、さつま揚げ販売
- ・子供向けマジック
- ・紙芝居
- ・エプロンシアター・パネルシアター
- ・竹とんぼの製作と遊びの体験
- ・絵手紙づくり
- ・昔の玩具で遊ぼう(お手玉、けん玉、ペーゴマなど)
- ・折り紙
- ・手作り玩具で遊ぶ・クラフト(楽しいクリップ作り)
- ・おやつ作り体験
- ・ふれあいステージ
- ・千代紙人形 紙ひこうき
- ・福祉体験コーナー
- ・たけのご教室の紹介
- ・オーシャンクルーズ、放課後児童クラブ、母親クラブ、
児童文化事業、子供会の紹介



市教育委員会では、21世紀を
つくる子どもたちへのメッセー
ジとして、平和の心を育てるパ
ンフレットを作りました。この
パンフレットは、単に戦争だけ
ではなくさまざまな社会の問題
に対して、人が人らしく生きる
ことをテーマとしています。小
学校低学年用、高学年用、中
生用の3種類があり、いずれも
「ともに生きること(共生)」の大
切さを伝える内容となっています。
このようなパンフレットは
県内で初、全国的にも珍しい試
みで、今後の活用の広がり注
目が集まっています。

☎学校教育課 ☎33-1684

平和の心を育てる
パンフレット

小田原
彩時記

新作踊りがしびれるぜ!

ODAWARAえっさほいおどり

えっさほいおどりといえば、小田原ゆかりの童謡「おさるのかごや」のフレーズと、猿子と名付けられた鳴子を持って踊れば、あとは振りも衣装も音楽も自由というのが魅力です。誕生より3年目を迎える今年、新たな魅力が加わりました。

誰でも踊れる元気な踊り!

あのえっさほいおどりに「新・公式踊り2001」が完成しました。

「おだわらちようちんぶら下げて」「えっさえっさえっさほいさっさ」などおなじみのフレーズながらも、曲は別物。スローテンポで入り途中からドラムによる激しいロックのリズムに変わります。

完成披露では、よさこい踊りのカリスマトも称される國友須賀さんが公開練習として、なぞのベールに包まれていたその振り付けを明らかにしました。

小田原の街と人をイメージしたという振り付けは躍動感にあふれ、それでいて少しコミカル。実行委員会によると「だれでも少しの練習で踊れるはずです」とのこと。國友須賀さんの指導による参加自由の練習会は5月4日(休)にもマロニエで行われます。

また、公式チームの個人参加もあわせて募集中です。



えっさほいおどりの主役はきみだ!

7月20日(祝)・21日(土)に踊ろう!

ちようちん夏まつり会場にて参加するチーム募集中!
申込 5月20日(日)までに、
実行委員会 ☎ 426253



マロニエにて、新・公式踊り2001を披露する國友須賀さん

問 実行委員会 ☎ 426253

http://www.essahoi.com

最初の感動が忘れられない!

片桐岳彦さん(副実行委員長・早川)

「小田原の小田原による小田原のためのまつり」をやるうというのがえっさほいおどり誕生のきっかけでした。何千人もの踊り手が道路を埋め尽くす高知のよさこいまつりを見学したら、感動のため体に震えが走ったのです。それからこのスタイルの祭りを小田原に持って来る試みがスタートしました。

参加者にとっては、人数を集め、曲と踊りをつくり、衣装を揃えて練習する…。とても大変だと思っていました。でも、フタを開けてみれば、小田原から多くの方が参加してくれました。本当にうれしいですね。

年々増え続ける踊り手さんと熱意あるスタッフに支えられて、確かな上昇流を感じます。今年は、さらに盛り上がるため参加者一同が一体感を持つ新作踊りを作りました。初めての人を受け入れる公式チームも準備中です。

祭りを「真釣り」と書く、と國友先生に教えていただきました。心の中にある真実を釣り上げるということでしょうか。

この踊りを通してまちのエネルギーがどこまで高まるか楽しみです。この夏はちよつとすごいことになりそうですよ。



参加自由!

國友須賀さん指導による練習会
5月4日(祝)12:00~15:30
マロニエ

国際交流ボランティアに挑戦しよう!

申込 市民交流課 ☎ 331707

もてなしの心がふれあうまちづくりに、あなたも参加しませんか。募集要項は市民交流課(市役所5階)または国際交流ラウンジにあります。

申込 5月18日(金)まで、③は随時

①ホストファミリー

・オーストラリア・マンリー市の中高生と引率

7月13日(金)から14日間

・アメリカ合衆国・チュラビスタ市の青年

7月19日(休)から15日間

②市民スタッフ

通訳・翻訳・英会話指導・日本文化(茶道・華道・書道)紹介など

③通訳・翻訳ボランティア

外国籍住民の日常生活のトラブルや窓口手続きの方法といった相談をサポートしていただける方

小田原の源水「水のきらめき」

賞味期限をご確認ください

営業課 ☎ 411202



皆さんからご好評をいただいている小田原の源水「水のきらめき」の賞味期限は、製造日から3年です。賞味期限は、缶底やケースに記載してありますので、期限切れになっていないものは、新しいものと買い替えることをお勧めします。

「水のきらめき」は水道局ほか、市役所・市立病院の売店やJAおだわら各支店などで販売しています。

480ml 100円(消費税込み)

1ケース24本入り 2,400円(消費税込み)

小田原漆器の伝統は この手でつなぐ

「伝統工芸産業後継者育成事業修了」

産業政策課 331515

平成10年9月から、小田原漆器の漆塗りの後継者として研修を受けてきた飯沼孝彦さんと増田理恵さんが、この3月に全カリキュラムを修了しました。

小田原漆器をはじめとする木工業界は、長引く不況や流通の国際化などで厳しい状況が続いています。そのため市では、後継者の少ない伝統工芸産業を育成しようと、後継者育成事業を行って、3年前に二人が選ばれたのです。

「漆は、やさしさと温かみを感じる塗料です」と話す二人は、伝統工芸士の池谷元弘さん、大津晃さん、漆芸作家の野田とし子さん、神奈川県工芸技術センターの皆さんなどに指導を受け、温かい目で見守られながら、漆塗りの知識と技術を学んできました。「この世界は理論ではない。体で覚えなないとね。二人とも今が本当の意味での出発

だ」という師匠からの激励を受け、この4月からは木工業の職に就き、漆器の製造に携わっています。一人前の職人にはまだまだ遠いと、口をそろえる二人。「とにかく奥が深いです。でもいつの日か『飯沼塗』を作ってみたいですね」「漆器の良さは、使えば使うほど良くなっていくところ。気軽に使って、漆っていいなと思ってもらえるものを作りたいですね。研究すればするほど、開拓する可能性があると思うと楽しみです」と話す二人は、後継者選ばれたときと変わらない情熱で、決意を胸に新たな一歩をふみ出しました。

昭和59年5月に、国の「伝統的工芸品」に指定されている小田原漆器。次代を担う人材となるものと、今後の活躍が期待されます。



「漆塗りに使う刷毛は人間の髪の毛から作るの、髪を伸ばしているんです」と研修期間中に話していた二人。「腰まで伸びました」と飯沼さん(左)。「私は切りましたよ(笑)。これで刷毛を作ります」と増田さん。手にしている卒業制作品の鉢と盆は、感謝の意を込めて市にプレゼントしました。

二人が研修で制作した作品を、6月29日金まで、市役所2階展示ロビーに展示しています。どうぞご覧ください。

木が息づく

さあ新年度！
木の汁椀で
いただきます！

小田原の木の文化を子どもたちに学んでもらうため、市内の一部の学校では給食に手作りの木の汁椀を使っています。新年度の始まりで喜びに満ちあふれる久野小学校のランチルームをのぞき、木の汁椀の感想を聞いてみました。

園学校保健課 331693

今日のメニューは五目ごはん、けんちん汁、モモ缶、牛乳。3階のランチルームでは、5年1組の33人が5〜6人でグループとなって丸テーブルを囲み、それぞれの器やお椀に給食を盛っています。

色鮮やかなテーブルクロスに並ぶ食器の中でも目をひくのは木の汁椀です。その汁椀にうれしそうに盛りつけていた二人に話しを聞きました。

「家で使っているお椀に似ているのでうれしい。熱くないし、すべらないし、使いやすいよ。ぼくの手にもぴったり合って、底に指が入るのでも持ちやすい」と石川知彦さん。「前より大きく、持ちやすいよ。それに軽いよ。たくさん入れても、安心して食べ



られる。見た感じもいいでしょ」と釘持さおりさん。おいしそうに食べている姿にカメラを向けると、すぐさま友達に囲まれてしまいました。





神戸市民ランナーに大拍手

「阪神・淡路大震災」から6年。今年の1月17日から約1000日かけて、神戸から全国に市民ランナー50人がお世話になったお礼を込めて「希望の灯り」を届けています。4月6日には、第12グループが小田原市に到着し、市役所正面玄関では歓迎のセレモニーが行われました。

町座通
二宮銀座
ランナーは、二宮銀座通りを
から国道1号線、けやき通りを
市役所に到着した。



北條太鼓の「ソレソレソレソレ」と勇ましい中にも温かいバチさばきが響く中、災害ボランティアが小田原ちようちんを大切に胸に掲げ、寄せ書きの旗が振られる市役所正面。その数、なんと300人。歓迎ムー

ドが盛り上がる中、どこを見ても笑顔・笑顔。
ランナーの姿が見えると、一斉に割れんばかりの盛大な拍手がこだましました。力強い足取りの3人は、一歩一歩と喜びを踏みしめるように中央に到着し、神戸市民からのメッセージを小澤市長に贈りました。神戸からの笛付きカードライトやひまわりの種のお返しに、西湘高校生による手作り鯉のぼりや日本絵手紙協会からのメッセージ、寄せ書きされたひまわりフラッグの贈呈式も行われました。



「災害時は救助や救護、物資の支援をはじめ、小田原の方には大変お世話になりました。このご恩は決して忘れません。もし、小田原が災害にあつたとしても、神戸市民一同、力の限り恩返しをさせていただきます」と団の先乗り隊を務めた横田哲雄さんは、熱い歓迎に興奮ぎみに語ってくれました。

あ り が と う

小田原文学館顧問

歌人・鈴木貫介さんが

3月18日死去



鈴木さんは早川に生まれ、18歳のとき、郷土出身の作家牧野信一が自ら命をたつたことに衝撃をうけ、文学に打ち込む決心をしました。21歳のときには、小田原に居を移した詩人・三好達治に、更にその後歌人・川田順に師事し、坂口安吾ら多くの文学者と親しく交流していました。

鈴木さんの作品はどれも、10年にわたって師事した三好達治の「歌壇」というものには関心を持つな」という教えが顕著に表現され、歌壇を超越した高雅な作風により高い評価を受け、特に第3歌集『南畝集』は昭和43年に読売文学賞候補となりました。その後も詩心にいつそうの磨きをかけ、朝日新聞掲載の大岡信さんの「折々の歌」では、鈴木さんの作風を「三好達治、川田順に師事し、吉野秀雄、坂口安吾らに親しんだようだが、その人々の心に学んで言葉を追わなかった」と評しています。



つた大岡信さんから10首抄録を献呈されていますが、これは鈴木さんの作歌に対する真摯な姿勢とため

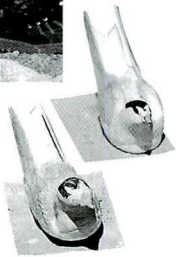
まぬ努力が評価されたものです。今後、ますますの活躍を期待されていたのですが、小田原市にとって大切な文学者の一人を失ってしまいました。

また、鈴木さんには小田原文学館の顧問をお受けいただいたほか、広報おだわらに平成8年5月から平成9年4月にかけて『文藝雑記』一期一會を12回にわたり掲載いただくなど、長い間市政への協力をいただきました。心から鈴木さんのご冥福をお祈りいたします。

コアジサシ

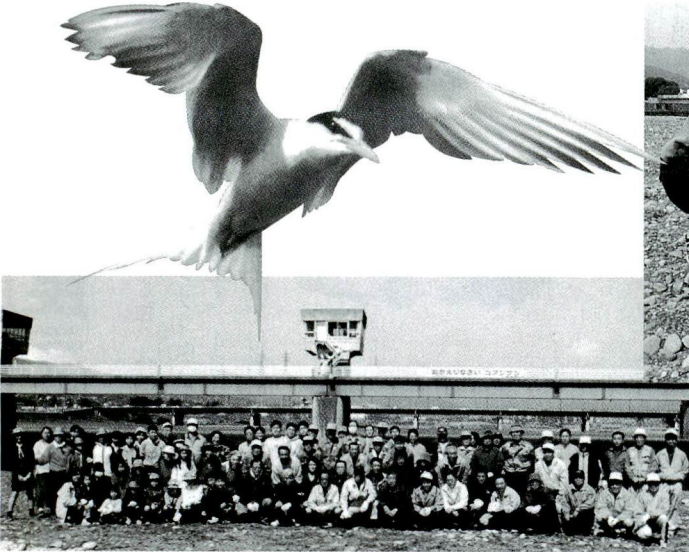
の郷づくり

環境保全課 ☎331481



4月1日(日)酒匂川で、コアジサシの郷づくりが行われました。市の鳥に指定された小型の夏鳥コアジサシは、ニュージーニアやオーストラリアなどからはるばるやって来ます。4月から7月までの間、酒匂川の砂地で多く見られるコアジサシですが、最近では水辺環境の変化などにより世界的に数が減り、日本でも絶滅危惧種の指定を受けてしまいました。

撮影：森下義朗さん



そこで小田原では、コアジサシが良い環境で過ごせるように、飛来の時期には毎年酒匂川の草取りや清掃を行っています。当日は二か所に約300人の参加があり、河原のごみなどを掃除したあと、多くのコアジサシに来てもらおうと、3月に開かれたコアジサシの模型(デコイ)製作教室で作ったデコイを河原に設置しました。その後4月半ばには、約130羽の飛来が見られましたと、地元で観察を続けている方からうれしい便りも届いています。

小田原の鳥と魚

誕生

あじっこ音頭!

小田原の市の魚アジも喜ぶうれしいお知らせです。早川地域の行事に参加していた伊勢原市の田村せつこさん(社団法人日本童謡協会会員)が「あじっこ音頭」を創作し、早川小学校で初の練習会が行われました。「8月に行われる早川の夏祭りでお披露目できたらいいな」と参加者は次の発表の機会を楽しみにしています。



この日に集まったのは早川小学校生徒20人と「早川を楽しくむ会」の保護者たち。家庭からトイレ、トペーパーの芯やペットボトルなどアイデアを凝らした自作の楽器を持ち寄りました。

「ぼくお魚大好き。イクラ・大トロ・甘エビ・アナゴが特に好き。もちろんアジも大好きです。学校が終わるとピアノ・英語・スイミングなど習い事で忙しいけれど、一生懸命練習して上手になりたいな」と今覚えたばかりの振りをオバーアクション
ヨンギみに教えてくれた大橋庸平さん(早川小2年)。



あじっこ音頭は、リコーダー・タンバリン・カスターネットなどをはじめ、音が出るものなら何でも演奏オツケの軽快なアップテンポの曲で、両手を合わせ、くねらせアジの泳ぐ姿や、全身のばねを使ってアジがはねる姿を表現しながら輪になって踊ります。

さすがは漁港を抱える早川地区。あじっこ音頭は早くも地域のハート射止めたようです。

ピッチ ピッチ ピッチ ピッチ：
はねる はねるさ ピッチ ピッチ
あじっこあじっこあじっこ
いちば〜ん ヨイサ
ふねをだせだせ
よーおー ヨイサ
ヨイサ ヨイサ ヨイサ…
あみをひけひけ
ドンドン ドントコ
きょうのみずあげ たいりょうたよ
ドンドン ドントコ
あじっこあじっこあじっこ
あじっこ
あじっこ い〜ち〜ば〜ん
シャッコイ!

「最初は恥ずかしくなかったけど、踊りが楽しくて自然と体が動いちゃった。次のお披露目までには、上手になりたい。今日は海苔の容器とペットボトルに入れたアイロンビーズを家から持ってきてました」とうれしそうに楽器をカラカラと振る渡辺真由美さん(早川小4年)。



期待を集めてオープン おだわら市民活動サポートセンター

◎おだわら市民活動サポートセンター 228001



市民会館の4階では、ところ狭しと市民団体や関係者約60人がサポートセンターの入口を取り囲み、門出を見守りました。

いよいよテープカット。市民の代表として清水晴美さんと小澤市長・二見議長がハサミを入れると、入口が階段近くとあって拍手はうねりとなって会館全体に、こだましました。

セレモニーの後の利用説明会では、活発な質問が飛び交い、交流サロンに用意されたティーサービスに会話が弾む参加者たち。どの顔も、うららかな春の日差しで輝いています。

こんなすてきにオープンしたサポートセンター。あなたも利用してみませんか。

利用の一番乗りは「わたしし！」

小早川のぞみさん(扇町)

「サポートセンターのオープンニングにも参加しました。実は、私たちは、さっそく街づくりマップを会場に張り出して、グループの活動をPRしていたんです」と小早川さん。その意欲には恐れ入りました。

小早川さんは、小田原まちづくり魅力アップ委員会の解散後、女性7人と「虹の会」を発足。最近の活動は歩行者・観光者の立場から、小田原駅前ではどんな情報がほしいかを考え、ウォッチングマップを作り発表しました。

サポートセンターの感想を尋ねると「思ったより明るく、使いやすそうでした。使用方法も利用者に優しく好感が持てました。今後は、この施設の予約を取り合うほど皆さんの活動も活発になるといいですね」と励ましていただきました。



神戸の市民ランナー歓迎セレモニーで、災害ボランティアから手渡されたちょうろは小早川さんが描いたもの。小早川さんのボランティア活動は多岐にわたる。

華やかに春

かまぼこ三行詩

かまぼこ板に書く三行詩コンクールの入選作品の発表が、かまぼこ桜まつりの会場で行われました。

桜が満開の銅門広場内には、たくさんの方の観光客が集り、優秀作品のできればえに思わず歓声が起こっていました。

◎産業政策課 2331515

●最優秀

【一般の部】

神保えり子さん(横浜市)

梅林から見る小田原城
あなたに嫁いで三十年
私の故郷になりました

【ジュニアの部】

箕島菜佐香さん(南鴨宮富士見小)

好きなもの うめぼし
かまぼこ あじのひもの
やっぱり わたしは 小田原っ子

●優秀賞

【一般の部】

椎名恵子さん(千葉県)

噛む程に味わい深き
小田原の蒲鉾みたいな
君に惚れそう・・・

山本佳子さん(横浜市)

小田原城の寒桜
見ながら食べる蒲鉾は
一足早い春の味

【ジュニアの部】

嘉瀬井瑞輝さん(荻窪・3歳)

海、もうすぐだね 海の音がする
空のおいもする
(空のおいどんなにおい)
ラムネのおいだよ・・・

佐野宏明さん(二宮町・二宮小)

御幸決のおぼあちやん
今年も桜と象さん 見に行くね
みやげのかまぼこ ダアキ大好き

●特別賞

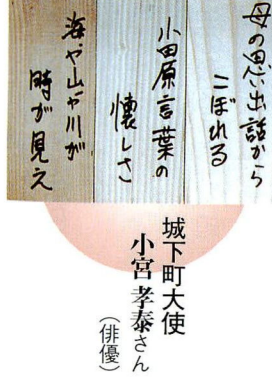
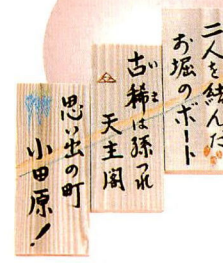
首藤英輔さん(伊勢原市)



ハン ソクアンさん(伊勢原市)



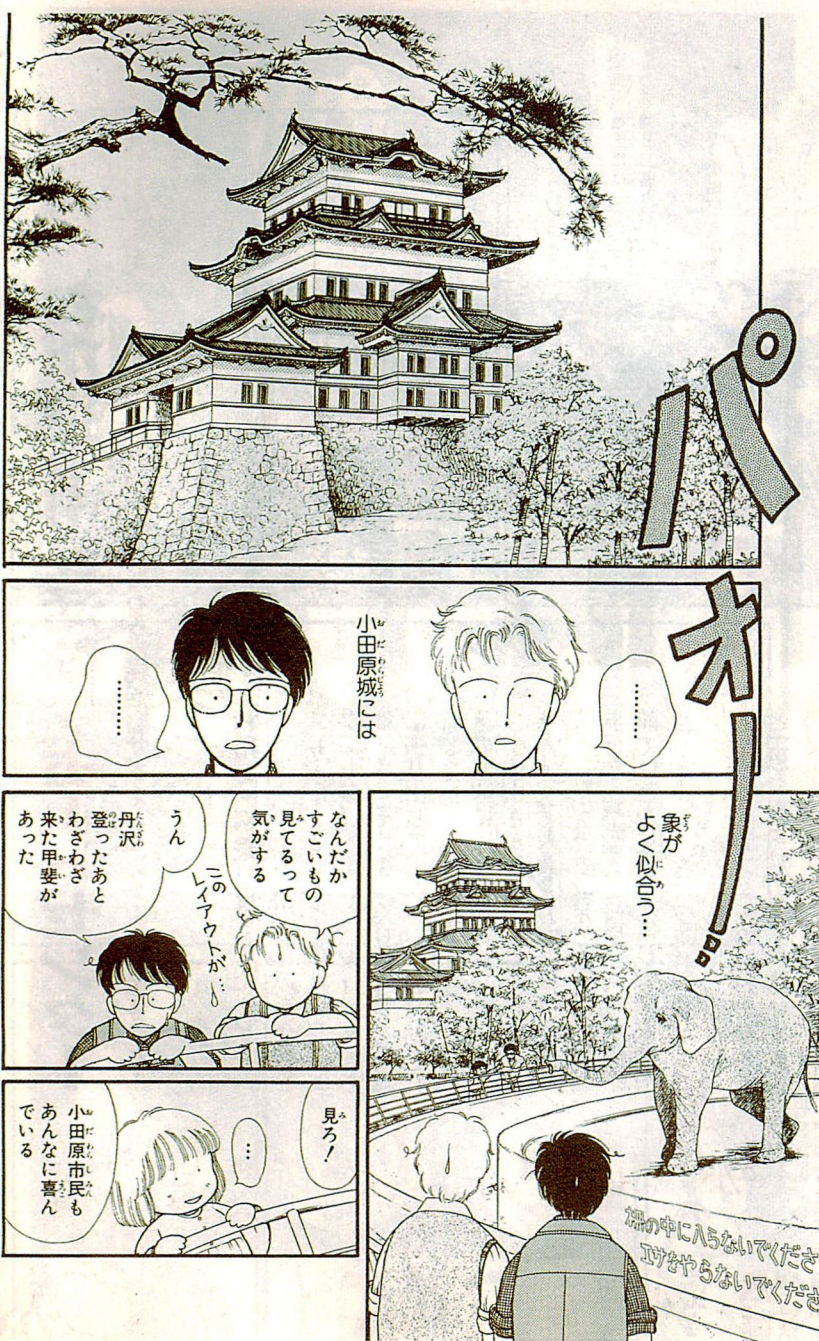
佐野治平さん(二宮町)





「フロイト 1/2」

川原 泉
白泉社



©川原 泉 / 白泉社

一对の提灯を分け合った二人が、夢を分かち合う物語。小田原城址公園、動物園、小田原提灯などが作品の重要な場面で登場します。

(物語)

登山が好きな大学生の瀬名弓彦は、親友の八木沢省吾と山登りの帰りに小田原に立ち寄り、城址公園の象の前で小学生の篠崎梨生と出会います。

弓彦と梨生は、二人にしか見えない「風呂糸屋」という不思議な提灯売りから、一对の提灯を買ってそれを分け合いました。

すると二人は夢の中で会うようになります。弓彦と省吾が冬山で遭難しかかったとき、夢の中で梨生が弓彦に呼びかけて、二人を救います。

それから10年後、梨生はアルバイトをすることになったゲームソフト会社で、弓彦と再会します。

幼くして母を亡くし、父に去られても人を恨むことを知らずに成長した梨生と金の亡者のようになってしまった弓彦。二人は不思議な提灯の力で、何度も夢の中で会いますが、弓彦には夢の中で会う梨生のことがうっとうしくなり、自分の持っている提灯を燃やしてしまいます。

その夜眠りについた弓彦は、夢の中で真っ暗でだれもいない、何もなし「夢の砂漠」にいました。自分を待つ梨生のところに行けないことに気づき、一人ぼっちに耐えられなくなって生き方を考え直します。一方梨生は、自分を捨てた実父に会社で再会し、いっしょに暮らすことになりました。

「ゲームをクリアしたら 次の日曜日に小田原に行くのだ。」

小田原提灯が紡ぎ出した、夢と現実が交錯する不思議な物語は、梨生がふるさと小田原に思いをはせるところで幕を閉じます。

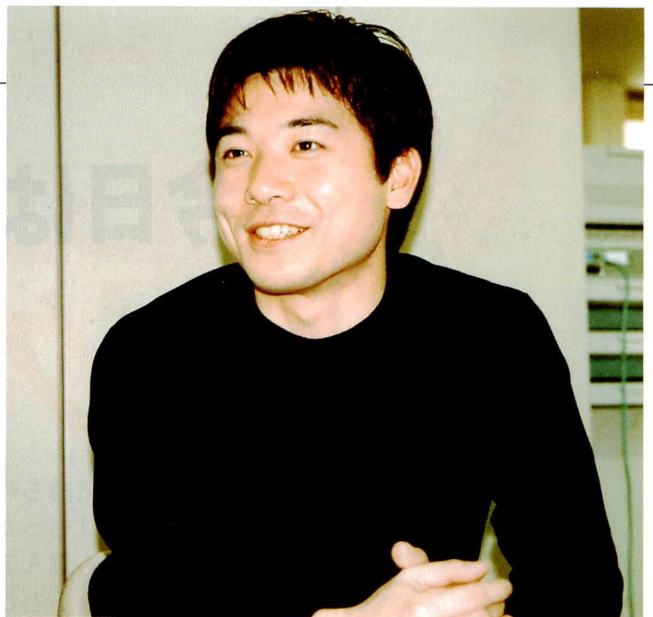
このコーナーでは、映画・絵画・写真・小説・詩などの作品に登場する小田原を紹介しています。小田原が扱われている作品を二存じでしたら、市広報伝誌室までお知らせください。

輝く小田原人

いつでも前を見て走り続けたい

アナウンサー **新谷 保志** さん

小田原高校卒



昭和51年生まれ。平成11年日本テレビ入社。現在は「あさ天5」「ジパングあさ6」「ヴェルディが好きな」NNN24をはじめスポーツ中継などで活躍中。

現在、アナウンサーといえば超花形の職業である。高校時代に駅伝にかけ、大学でも箱根駅伝の出場を夢みた青年は、そのアナウンサーとなった。今日もブラウン管に登場する彼のさわやかなアナウンスで、日本の朝が始まる。

小田原を駆けた青春

「高校時代は走ることだけでした。早朝練習で八幡山のテニスコートから5キロ走ってグラウンドでウェイトトレーニング。放課後は、久野林道など市内各地にロードに出ました。授業中は疲れを癒していました(笑)」と小田高時代を楽しそうに話し始める新谷さん。さすがはさわやかさが売りのアナウンサーである。すぐにその笑顔と人柄に引き込まれてしまう。

「石垣山では、小田原のまちや相模湾、三浦半島まで見ると気持ちよく走れました。テスト前の時期には、英単語の問題を出しながら仲間と走りました」。その頃の信念は「夢は必ずかなう」ということ。目標に向かってひたすら走り続けてた甲斐あって、高校3年の神奈川県駅伝大会で関東大会出場を決めるゴールテープを切ることができたという。

初めての挫折が生んだ、彼の成功

早稲田大学に進学した彼は、地元箱根駅伝を夢みて伝統ある競走部に所属。しかし、順風満帆と思われた人生に思わぬ挫折がやってくる。けがに泣かされ、どうしても走ることができなくなったのだ。「生まれて初めて心から泣きました。がんばっても、どうにもならないことがあるって」と。

しかしこのときの試練が彼をさらに強くする。「何事もプラス志向で考え、いつでも前を見て走ろうって決めました」と新谷さん。新たな目標、アナウンサー試験に挑み、みごと難関を突破。夢を手に入れた。

「睡眠時間が2〜3時間しかないときなど、辛いと思うときもありますが、そういう時は『今、自分はやりたかった仕事をしている。他の人にはできない仕事をしているんだ』と自分に言い聞かせて頑張っています」と言う。

「小田原はいいですね。東京では感じる事ができない、季節の匂いがするんです。休日前にあてもなくドライブすると、いつのまにか実家についていて、泊まっていくことが多いです」。

社会人としてスタートダッシュに成功した新谷さん。3年目の今も、息乱れ、あご上ることなく驚異的なペースでぐんぐん加速している彼に注目だ。



左から青山さん、河野さん、佐久間さん

2001年度 小田原の顔

ミス小田原 決まる

小田原の情報を全国に向けて発信するミス小田原3人が抱負を語りました。

☎観光協会 ☎22-5002

多数の応募の中から、予備審査会・最終選考会を経て、新世紀最初のミス小田原3人が決定しました。

4月2日の認定式では、関係者が笑顔で見守る中、ミスに選ばれた3人は真新しいユニフォームに身を包み、観光協会長でもある小澤市長から認定書を受けました。

昨年度のミス小田原から、シンボルのたすきを受け継ぐと、うれしい笑顔の中にも、改めて責任の重さを感じ、緊張した表情を見せる彼女たち。

「新しいものと伝統あるものが混ざっている、小田原の良い特徴を広く伝え、もっと多くの方に小田原を好きになってほしい」と、そう語るの、高校一年生の時に交換留学生として海外に行った経験をもつ、佐久間さん。

「小田原が、もっと活気に満ち溢れるまちになるようお手伝いをしたい。普段できない経験の中から、自分自身にもプラスになるように勉強したい」と考えている河野さんはサッカー観戦が趣味。

「多くの方に、もっと小田原を好きになってもらえるように力いっぱい頑張っ

てさまざまな経験とたくさんの方の出会いの中で自分自身を磨いていきたい」と小学生のころから市内のスイミングスクールに通っていた青山さん。初々しい笑顔がまぶしい3人は小田原への熱い思いを語ってくれました。

今後1年間、小田原の顔として、さわやかな笑顔で全国へ発信していきます。

市民へのお披露目は、5月3日の小田原北條五代祭り。「ミス小田原として、パレードに参加するのが今から楽しみです」と、早くも胸をふくらます新ミス小田原の3人。

パレードに参加する彼女たちに沿道から温かい声援を送ろう。きっとにっこりと微笑んでくれるはずです。

さあ、出かけよう!

今日はみんなで ピクニック!

さわやかで気持ちのいい季節になりました。家に閉じこもっていてももったいないですね。遊園地やデートスポットはどこも混んでいるかもしれないけれど、気軽に休日を満喫できるところはいろいろあります。家族や友達同士で、手軽に楽しい休日を過ごしましょう!



小田原こどもの森公園 わんぱくらんど

開園時間 9:00~16:30
休園日 月曜日(休日の場合開園)、祝日の翌日(土・日・休日の場合開園)
☎わんぱくらんど ☎24-3189
公園緑地課 ☎33-1583

子どもたちに大人気のわんぱくらんども、開園して1年。起伏に富んだ地形を生かした豊かな自然環境の中で、体を動かして自由にのびのびと遊べます。全長約520mのS L型子ども列車「なかよし号」や、ヒツジやヤギなどとふれあえる「ふれあい広場」、4月29日の開園記念日に寄贈された新しいフワフワ玩具「おさるぼりん」(4月29日~5月6日の期間中)も見逃せません。

●ポニー乗馬
時間 10:00~11:30、13:30~15:30
料金 1回300円(小学生以下)

●子ども列車
時間 9:30~16:00
料金 片道200円(小学生以上)
※いずれも雨天時に中止する場合があります。
○授乳室完備。
○園内に売店・食堂はありません(缶ジュースの自販機はあります。)



いこいの森

利用時間 9:00~17:00
休園日 月曜日、祝日の翌日(月曜日が祝日の場合その翌日)
☎いこいの森 ☎24-3785、農政課 ☎33-1494

豊かな自然ときれいな空気の中で、のびのびと遊べます。夏休み期間のキャンプ場利用は5月8日(火)から受付開始!

●バーベキュー場

青空の下で料理しながら食べるのは格別のおいしさ! 用具はそろっています。

時間 10:00~15:00、15:00~19:00(二部制)
※利用日の3日前までに電話予約。

料金 5人分6,500円から(肉・野菜・焼きそばなど)

●バードゴルフ場

2ヘクタールの広大なコースでシャトルボールを思いっきり打つ快感は、森のスポーツな

らでは、だれでも気軽にできます。セット料金 400円(使用料・クラブ・ボール・マット一式)

●林間運動広場

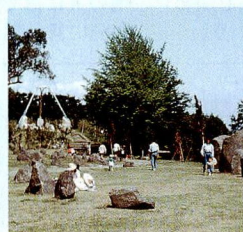
テニス・バレーボール・ドッチボール・バドミントンができます。

使用料 1回につき200円

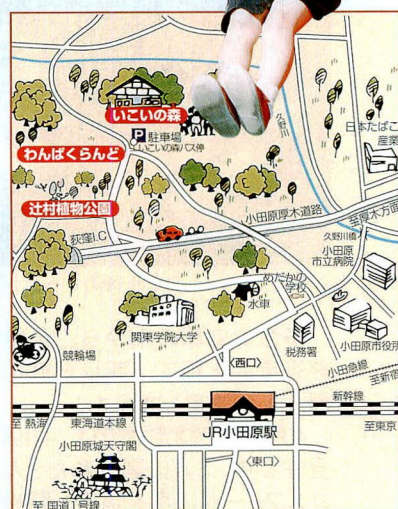
●体験交流センター「きつつき」

木工芸の体験ができるほか、研修会などの交流の場として多目的に使えます。使用料 200円(材料代 別途)

○バードゴルフ場・林間運動広場・体験交流センター「きつつき」は、利用日の1か月前の1日から予約開始。



心におみやげ、
見つけて小田原。



辻村植物公園

☎公園緑地課 ☎33-1583

辻村常助さんと弟の伊助さんが明治40年代に創立した農園を、自然景観と貴重な植物を守るべく公園として整備したもので、散策を楽しみながら、国内外の珍しい植物群を見られます。落ち着いたたたずまいは、のんびりするにはうってつけです。



ゴールデンウィーク中(4月28日~5月6日)は、小田原駅から臨時バスが運行しますので、ご利用ください。

●小田原駅西口発 9:20、10:30、10:55、13:20、13:50、14:40、15:30、15:40

●いこいの森(わんぱくらんど)発 9:40、10:50、11:17、13:42、14:20、15:00、15:50、16:00